

Q , 前回協議会でのご質問・ご意見  
A , 前回協議会での回答  
赤字, 今回協議会での回答

資料1

## 前回協議会における確認事項

### (1) 峠谷覆土工事内容について

Q. 峠谷覆土工事の工事内容は協議会で議論をする必要があるのではないか。(アドバイザー)

A. 峠谷覆土工事はスケジュールも含めて協議会で審議したいと考えています。(事務局)

⇒後ほど「資料2」にて説明させていただきます。

### (2) 最終処分場閉鎖について

Q. 最終処分場の閉鎖に向けた基本的な筋書きが分かる資料を作成して欲しい。(委員)

A. 最終処分場の閉鎖に向けた計画を立てていきたいと考えています。(事務局)

⇒後ほど「資料2」にて説明させていただきます。

### (3) 旧埋立地の安定化について

Q. 旧埋立地は、池の辺・峠谷とは別のスキームを考えて検討すべきである。(アドバイザー)

A. 旧埋立地は、昨年度から調査を開始したため、安定化対策までは検討を実施していない。今後、安定化対策を考慮し慎重に調査を実施していきたい。(事務局)

⇒後ほど「資料2」にて説明させていただきます。

### (4) 旧埋立地の把握について

Q. 旧埋立地の規模等を特定する調査を実施する必要がある。(アドバイザー)

A. 旧埋立地に関しては、対策の実施に関して踏み切る時期ではないかと考えています。(事務局)

⇒後ほど「資料2」にて説明させていただきます。

### (5) 調整池のブロック積み構造について

Q. 調整池のブロック積みの目地は最初から無かったのか。(アドバイザー)

A. 設計図面・補修工事図面等を提示し検討を実施したいと考えています。(事務局)

⇒後ほど「対策工事の経過」にて説明させていただきます。

### (6) 調整池のダイオキシン類蓄積量について

Q. 堆積期間とダイオキシン類の蓄積量の関連性を調べることで、今後の蓄積量が推定できるため評価できる調査を実施していただきたい。(アドバイザー)

A. 計測方法、結果の考察方法に関しては、計画を立てた上で協議をさせていただきたい。(事務局)

⇒今年度は調整池補修工事を優先的に実施することで、調整池の浚渫は行いませんでした。そのため、次年度以降、浚渫工事の際にこれらの関連性について判断できるような調査計画を協議会でアドバイスをいただきながら審議していきたいと思っております。

### (7) 調整池のダイオキシン類調査方法について

Q. 現在の3箇所こだわらず、離れた箇所において計測して貰いたい。(委員)

A. 計測方法、結果の考察方法に関しては、計画を立てた上で協議をさせていただきたい。(事務局)

⇒今年度は、調整池内の3箇所に加え、下流域についても調査を実施しました。

調査結果については、後ほど説明させていただきます。モニタリング説明資料23ページ参照。

## (8) 協議会資料について

- Q. 事前に資料に目を通すが分かり難いため、要点等のコメントを付けていただきたい。(委員)  
⇒要点や問題点のコメントを追加し分かりやすい資料とするようにしました。